

講義コード	1069	科目区分	
(フリガナ)	スポーツキョウイクガク	(フリガナ)	フクダ カズノリ
授業科目名	スポーツ教育学	担当教員名	福田 一儀
英文授業科目名	Sport education		
基準年次(開講期)	4年生(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	水曜日		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心、演習、課題レポート
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	学校体育・スポーツパーソンシップ・体罰・スポーツ事故		
授業概要・目的	本講義では、生涯スポーツを標榜する現代社会において、我が国の学校体育や生涯スポーツの変遷を理解し、人々のスポーツ活動の在り方、楽しみ方や質をどうとらえるかを模索するための必要な知識を得る。		
到達度評価の 評価項目	<p>体育とスポーツの違いについて理解する。          学校体育の歴史的変遷や現状の課題を認識し、自分の意見を持つことができる。          生涯スポーツの歴史的変遷や現状の課題を認識し、自分の意見を持つことができる。          スポーツ指導者の法的責任を理解できる。</p>		
授業計画			
第1回	ガイダンス。オリエンテーション。 スポーツ教育学とは		
第2回	スポーツ教育の歴史1 世界のスポーツプロモーションとスポーツ教育の歴史		
第3回	スポーツ教育の歴史2 日本のスポーツプロモーションとスポーツ教育の歴史 II-1-②我が国のスポーツプロモーション		
第4回	スポーツとは何か スポーツと体育、スポーツと健康づくり運動の違いについて		
第5回	スポーツの価値1 スポーツの良さを考える		
第6回	スポーツの価値2 スポーツパーソンシップ		
第7回	日本のスポーツ観について 武士道		
第8回	日本のスポーツ観について 学校教育の中での体育		
第9回	欧米のスポーツ教育から学ぶ1 アメリカのカレッジスポーツから学ぶ		
第10回	欧米のスポーツ教育から学ぶ2 アメリカの高校野球の取り組みから学ぶ		
第11回	スポーツのリスクマネジメント1 指導者の役割と法的責任		
第12回	スポーツのリスクマネジメント2 スポーツ事故と保険		
第13回	スポーツと人権 スポーツと人権、体罰		
第14回	スポーツ教育の今後の可能性 ゴールドデンスポーツイヤーズにむけて		
第15回	まとめ		
教科書・参考書等	<参考書> ハンス・レンク、グンダー・A・ピルツ(2000)「フェアネスの裏と表」不昧堂出版、東京 新渡戸稲造(2010)「現代語訳 武士道」筑摩書房、東京 菊幸一他編(2011)「スポーツ政策論」成文堂、東京		
授業で使用する 機器等	プロジェクター・映像機器		
予習・復習への アドバイス	予習)各界の講義内容を確認し、関係する参考文献を読む 復習)各回配布する「Keynote」に要点を書きこんだものを復習する		
履修上の注意・ 受講条件等	日本体育協会公認スポーツ指導者資格取得のための科目		
成績評価の基準等	授業に取り組む姿勢30% 課題レポート(計4回)70%		
メッセージ	携帯電話厳禁(ただし、許可した場合を除く)		
オフィス・アワー	火曜日12:00-12:45		
その他			